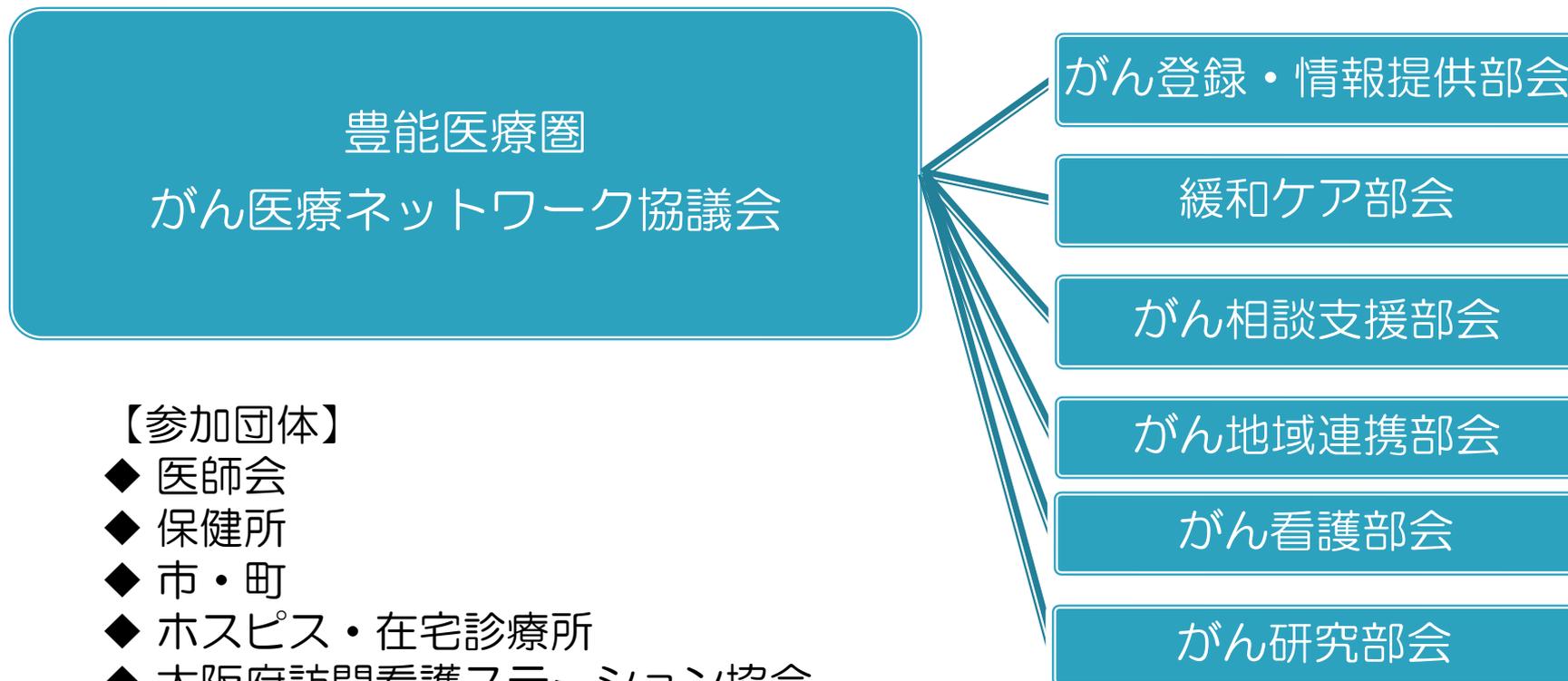


豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

市立豊中病院
大阪大学医学部附属病院

組織図



【参加団体】

- ◆ 医師会
- ◆ 保健所
- ◆ 市・町
- ◆ ホスピス・在宅診療所
- ◆ 大阪府訪問看護ステーション協会
- ◆ がん診療（連携）拠点病院

がん登録・情報提供部会（がん登録チーム）

【令和5年度（2023年度）活動目標】

1. 院内がん登録データを用いた現状分析

大腸癌をテーマに2020年～2022年の3年分の院内がん登録データから、地域、進行度や治療内容等のベンチマークを作成し、豊能医療圏と三島医療圏における現状について比較、分析を行う。

がん登録・情報提供部会（がん登録チーム）

【令和5年度（2023年度）達成状況】

2. 達成状況

大腸癌をテーマに2020年～2022年の3年分の院内がん登録データから、地域、進行度や治療内容等のベンチマークを作成し、豊能医療圏と三島医療圏における現状について比較、分析を行った。

また、大作府から検討依頼のあった、2018年～2022年の院内がん登録データを用いた胆・膵がんの診療の現状について分析を行った。

がん登録・情報提供部会（情報提供チーム）

1. 令和5年度（2023年度）部会活動の目標

- ・がん教育
- ・がん医療公開講座の実施の方向性等について検討

2. 令和5年度（2023年度）部会活動の具体的な取組み

- (1) 児童・生徒向けがん教育出前講座への講師派遣の継続
 - ・各市町教育委員会への働きかけを継続
- (2) がん医療公開講座の実施の方向性等について検討
 - ・がん医療公開講座の開催方法について検討を図る

(1) 児童・生徒向けがん教育出前講座への講師派遣について

市町名	取り組み
豊中市	<ul style="list-style-type: none">市立中学校7校に医師を派遣し出前授業を実施。がんについての正しい知識を習得するとともに、がんの予防と早期発見、がん患者への理解と共生についての内容で実施。今後全中学校実施に向け、教育委員会、保健所、市立豊中病院とで協力して積極的に進めていく。
池田市	<ul style="list-style-type: none">市内の中学校（池田中学校）1校と市外の中学校（豊能町立吉川中学校）1校において、がん看護専門看護師によるがん教育の出張授業を行った。
箕面市	<ul style="list-style-type: none">市立中学校3年生を対象にがん教育出前講座を実施。箕面市立病院の医師・看護師を講師として招いた。がんの基礎知識や予防に加え、病院現場での話や、患者やその家族の実際の思いを講話され意義のある内容となった。令和6・7年度には、未実施校全てで計画的に実施していく。
吹田市	<p>小学4年生を対象とした健康教室「キッズ健康サポーター教室」で、生活習慣病に関する講話と合わせて、がん検診等の啓発リーフレットを児童に配布し、保護者への周知啓発を行った。今年度は6校に実施。</p> <p>小学2年生の授業「まち探検」で、がん検診の啓発ラップ等の体験を行った。また、中学2年生の職業体験でがん検診等の啓発について意見交換し、生徒にがん検診等の啓発カードを配布し、保護者への周知啓発を行った。</p>
豊能町	取組みなし
能勢町	<p>出前講座や研修会などは実施していないが、8年生（中学2年生）の保健体育で、がんについて学習している。</p> <ul style="list-style-type: none">教科書を使用してがんについての学習

がん登録・情報提供部会（情報提供チーム）

（2）がん医療公開講座の実施の方向性等について検討

- ・部会のメンバー構成変更に伴い、今後の講座の実施方法について検討を行っていく

緩和ケア部会

〔令和5年度（2023年度）活動目標〕

1. 地域連携リレーシート運用ワーキンググループによる活動
 2. 地域連携カンファレンス（マッチング）
 3. 各施設の研修会、勉強会のお知らせなど情報共有
 4. その他
- 

緩和ケア部会

1.地域連携リレーシート運用ワーキンググループによる活動（11施設参加）

- 【目的】 ①リレーシートの普及
②リレーシートの改定

- 受け手施設からのシート活用評価、送り手側の現状報告
- 現段階では部会外を含めて地域医療施設に広く普及は行わず、先にリレーシートの改訂を行う方針（前年度のリレーシート改定案を参考する）

緩和ケア部会

2.地域連携カンファレンス（マッチング）

緩和ケア部会参加施設同士でカンファレンスを行い、部会共通テーマについても協議する。

今年度共通テーマ

「療養の場の意向（移行）を妨げるもの」

- 12施設が参加し計7回開催。
- 共通テーマについて事前質問を設定しアンケート形式で回答を得た（12施設）。その結果は部会内で共有した。

緩和ケア部会

3.各施設の研修会、勉強会のお知らせなどの情報共有

- 各種研修会や勉強会の情報は、メーリングリスト活用し共有
- 勉強会、講演会開催に大阪府助成金を利用

緩和ケア部会

4.その他

緩和ケアの提供体制について（主に疼痛緩和）各施設の疼痛緩和治療体制について共有することでよりよい緩和ケアを地域全体で行えるようにする。

→ 各施設へアンケート実施

がん相談支援部会

■～2022年度

地域連携部会でがん相談支援センターに関する取組みを実施
令和4年度は就労支援について

→2023年度より新たにがん相談支援部会を発足

がん相談支援センター業務に関して地域連携部会より引き継ぎ

■2023年6月22日

第1回 がん相談支援部会 開催

今年度の活動目標

→診断時からがん相談支援センターを案内できる体制の整備

■2024年2月15日

第2回 がん相談支援部会 開催(WEB)

がん相談支援部会

各施設での患者さんへの周知の方法

各医療機関の現状や行っている取り組みについて事前に情報共有し再確認を行った。

がん相談支援センターの周知のタイミングとしては、
告知時、入院案内時、初回外来化学療法時など。

周知を行う医療者としては、専門看護師、センターのスタッフなど、リーフレットを渡すだけの施設も。マンパワーの問題が大きい。

対象患者さんの把握方法としては、担当医らの連絡は不十分なことが多く（個人差大）、MA (medical assistant)、病理部門、医事課などから多方面から患者情報を収集している。

各施設で使用している紹介用ツール（冊子など）も共有し、相互に利用可能とした。名刺大カードを院内各所に配置している施設あり、センター訪問の契機として有用と。

他施設の取り組みを参考にして、自施設の方法を再検討する。

がん相談支援部会

相談支援の内容について

内容自体にはおおむね施設間の差はないが、マンパワーの問題は大きい。積極的にAYAチームを作って活動している施設（市立豊中）の情報を共有した。

セカンドオピニオンについて

各施設の情報（対象となるがん種）を共有し、患者さんへの紹介に利用することとした。

次年度の予定としては、
今回 他の施設の情報を収集し、問題点の把握、他施設の取り組みを確認したので、これをもとに自施設の体制を再検討する。

がん地域連携部会

【令和5年度（2023年度）活動目標】

「豊能医療圏におけるがんゲノム医療とAYA世代支援の均てん化に向け、現状および課題を把握する」

がん地域連携部会

令和5年6月22日 第1回部会

7月-11月 アンケート準備

12月 アンケート第一弾実施

令和6年2月16日 第2回部会（オンライン）

アンケート結果共有

2月-3月 アンケート第二弾実施

がん地域連携部会

達成状況① アンケート第一弾

目的：各施設におけるがんゲノム医療の実績、
院内フロー、地域連携体制
ならびにAYA支援の状況を調査する

期間：2023年12月

対象：地域連携部会員

方法：調査票に沿って各部会員が回答

がん地域連携部会

	がんゲノム医療				
	がん遺伝子パネル検査実施状況		院内連携		その他
	実施件数 (令和5年4月～9月)	パネル検査担当窓口の有無	パネル検査 依頼フロー の有無	周知ポスター の有無	補足・意見
大阪大学医学部附属病院	39 (他院から依頼の件数のみ)	○ (がんゲノム医療センター)	○	×	
市立池田病院	4	×	×	×	
市立吹田市民病院	0	×	×	×	
箕面市立病院	9	○ (がん相談支援センター、外来治療センター)	×	その他 (患者用リーフレットはある)	
大阪府済生会吹田病院	7	×	×	×	
大阪府済生会千里病院	2 (2ヶ月間の実績)	その他 (集計のみをがん総合診療センターで担当)	×	×	2023年7月よりデータ整理を開始しており、4-7月の間のデータがありません。 11月に泌尿器科1件腎がん、乳腺・内部分泌内科1件乳がんで大阪大学附属病院に相談している。
大阪刀根山医療センター	2	×	×	×	当院の腫瘍内科は呼吸器腫瘍内科1科であり、主治医が適応と判断すれば直接他院に紹介している。
市立豊中病院	19	○ (がんゲノム医療センター)	○	○	

がん地域連携部会

	AYA支援				
	AYA支援実施状況				その他
	AYA支援チームの有無	妊孕性温存相談担当窓口	生殖医療機関紹介数(令和4年1月~12月)	周知ポスターの有無	補足・意見
大阪大学医学部附属病院	×	○ (生殖医療センター)	集計不可	○	
市立池田病院	○ (緩和ケアチームが担当)	○ (がん相談支援センター)	8	×	
市立吹田市民病院	×	○ (がん相談支援センター)	0	○	
箕面市立病院	×	○ (がん相談支援センター、 外来治療センター)	1	×	当院では小児がんは対応しておらず、AYAケースは若年者でのがん罹患されたケースになります。
大阪府済生会吹田病院	×	○ (がん相談支援センター)	0	×	
大阪府済生会千里病院	×	○ (がん相談支援センター)	0 (令和5年は2件)	×	
大阪刀根山医療センター	×	×	0	×	高齢の患者さんが多いので今のところ症例がありません
市立豊中病院	○ (月1回のチームカンファレンスと各職種による個別支援)	○ (がん相談支援センター、 産婦人科、泌尿器科)	3	その他 (妊孕性温存助成制度や、AYAトークの案内は掲示)	

がん地域連携部会

令和5年6月22日 第1回部会

7月-11月 アンケート準備

12月 アンケート第一弾実施

令和6年2月16日 第2回部会（オンライン）

アンケート結果共有

2月-3月 アンケート第二弾実施

がん地域連携部会

達成状況② アンケート第二弾

目的：医療現場におけるがんゲノム医療についての
認知度や困りごと、ならびにAYA世代支援の認
知度について調査する

期間：2024年2月～3月

対象：豊能医療圏に勤務する医師、看護師をはじめと
する病院職員（多職種）

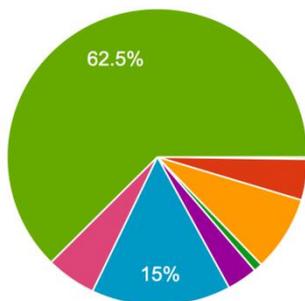
方法：部会員を介して各施設職員にWebアンケートの
回答を依頼

がん地域連携部会

達成状況② アンケート第二弾 途中経過（2/28時点で有効回答数436）

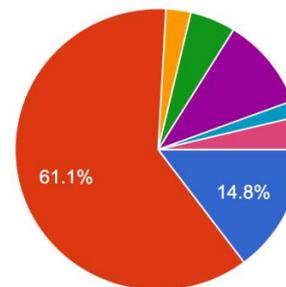
Q1-1. 勤務先の施設名を教えてください

427 件の回答



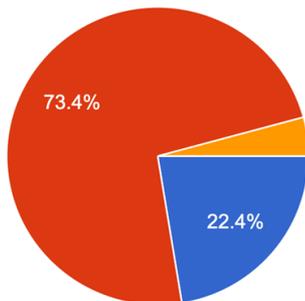
Q1-2. 職種をお聞かせください

427 件の回答



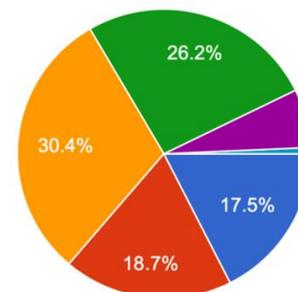
Q1-6. 性別について

428 件の回答



Q1-7. 年齢について

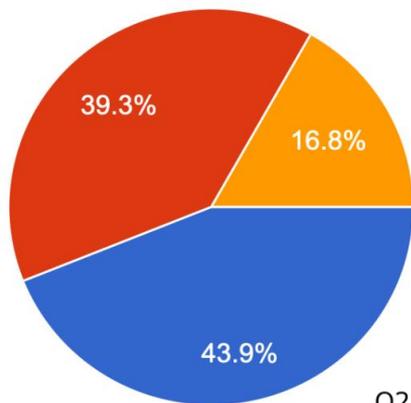
428 件の回答



がん地域連携部会

Q2-1. がん遺伝子パネル検査について聞いたことがありますか？

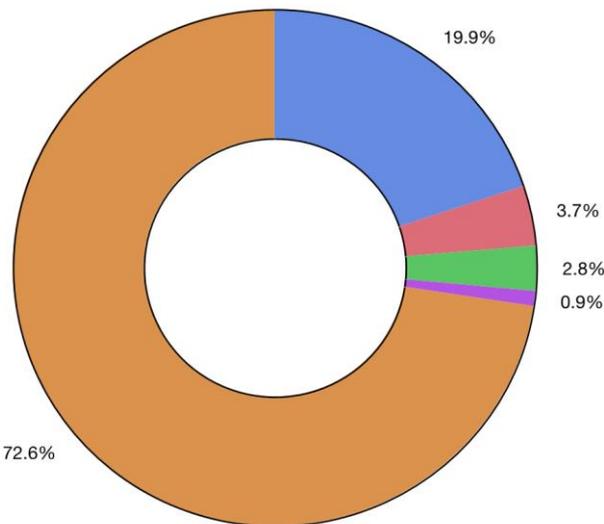
428 件の回答



- はい、知っている
- はい、名前は知っているが詳細は不明
- いいえ、聞いたことがない

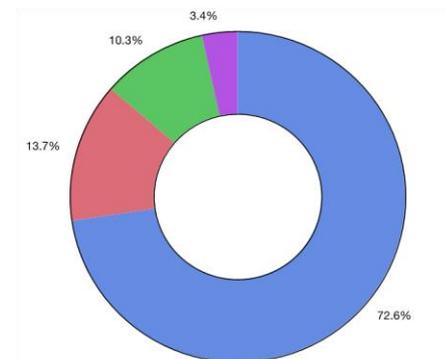
Q2-3. がん遺伝子パネル検査の説明、紹介やオーダーをしたことがありますか？

*医師以外のかたは「該当しない」を選択ください。



- いいえ、あまり説明していない
- はい、3件以上の紹介やオーダーした経験がある
- はい、数回紹介やオーダーした経験がある（1~2件）
- はい、説明はしているがまだ紹介やオーダーの経験がない
- 該当しない

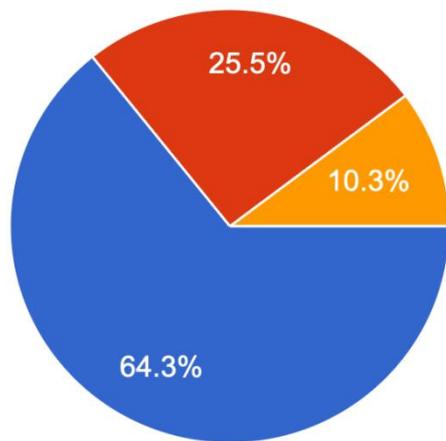
医師のみの回答



がん地域連携部会

Q3-1. 「AYA世代のがん」について聞いたことがありますか？

428 件の回答



- はい、知っている
- はい、名前は知っているが詳細は不明
- いいえ、聞いたことがない

職種別AYA認知度

	いいえ、聞いたことがない	はい、知っている	はい、名前は知っているが詳細は不明
医師	0.0	79.4	20.6
看護師	9.2	63.2	27.6
技師	40.9	45.5	13.6
事務職	11.1	60.0	28.9
診療補助職	37.5	37.5	25.0
薬剤師	8.3	58.3	33.3
その他	6.3	81.3	12.5

がん看護部会

＜がん看護部会目的＞

大阪府のがん看護体制を整備し、がん看護に携わる看護師の資質向上とがん看護の実践レベルの均霑化を図る

＜2023年度の活動方針＞

- 1)大阪府下・各医療圏の情報や課題を共有し、がん看護における課題解決に向けた連携・支援体制を構築する
- 2) 関連団体等と積極的な情報共有を図る

がん看護部会

豊能二次医療圏 がん看護部会

<テーマ>

看護師間の協力・連携の強化

<目的>

がん診療連携拠点病院間で連携・協力することで、豊能二次医療圏内の看護師間の連携強化、がん看護実践の質向上を目指す

<2023年度目標>

各病院の現状、課題を共有し、豊能二次医療圏で取り組む課題を明確にする

がん看護部会

2023年度の活動状況

- 2023年5月19日
大阪府がん診療連携協議会 第1回がん看護部会
於:大阪国際がんセンター
- 2023年11月10日
国指定がん診療連携拠点病院18施設によるワーキング
於:大阪国際がんセンター
 - ・ 2023年11月29日
豊能二次医療圏ネットワーク協議会 第1回がん看護部会
於:市立豊中病院
 - ・ 2024年1月30日
豊能二次医療圏ネットワーク協議会 第2回がん看護部会
於:市立豊中病院
- 2024年2月22日
大阪府がん診療連携協議会 第2回がん看護部会
於:大阪国際がんセンター

府域におけるがん
看護の現状の
needs調査

がん看護部会

2023年11月29日 第1回がん看護部会

- ・府域におけるがん看護の現状のneeds調査の結果共有
- ・各施設の現状と課題の共有
- ・活動テーマの決定
 - ①豊能二次医療圏がん看護部会主催のELNEC-J開催
 - ②豊能二次医療圏がん看護部会主催の看護師研修の実施と評価
 - ③各病院の看護部研修の院外公開と相互受入

各組織のがん看護教育状況の調査、各テーマの担当者決定

2024年1月30日 第2回がん看護部会

- ・具体的活動案の提案
- ・2024年度の活動方針の検討

がん看護部会

がん看護部会 2024年度活動目標

二次医療圏内で連携協力して取り組むテーマについて、具体的活動計画を立案する

- ①豊能二次医療圏がん看護部会主催のELNEC-J開催
- ②豊能二次医療圏がん看護部会主催の看護師研修の実施と評価
- ③各病院の看護部研修の院外公開と相互受入

第1回部会:2024年5月頃

第2回部会:2025年1月頃

* がん診療連携協議会とは別日程で部会開催予定

がん研究部会

(1)小児がん対策

● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

大阪大学医学部附属病院は、2019年に厚労省認定小児がん連携病院、大阪認定府小児がん拠点病院となり、小児がん拠点病院を含む大阪府内の小児がん診療施設と連携し、小児がん患者の質の高い診断・診療に取り組んでいる。

特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫および肝移植の必要な肝芽腫などについては大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科などと連携して治療にあたっている。

血液・悪性腫瘍やその他の疾患に対する造血細胞移植も積極的に施行しており、血縁、非血縁（骨髄バンクなど）、臍帯血のすべてに対応している。

2020年からはキメラ抗原受容体（CAR）-T抗原療法認定施設として、難治性白血病の治療に取り組んでいる。

AYA世代のがんに対しても積極的に加療を行っている。

妊孕性温存については、生殖医療センターと連携し、事前にきめこまかな面談を施行のうえ、卵巣凍結をはじめ高度な医療提供を行っている。

小児科では、2005年から治療後の長期フォローアップ外来を設置している。一生を通じて質の高い生活を送ることができるように多診療科による医師、看護師（研修会受講済）、臨床心理士、薬剤師、ソーシャルワーカーなどの多職種による支援を行っている。同時に移行期医療にも力を入れていく予定である。

がん研究部会

(2)造血幹細胞移植の推進

●造血幹細胞移植の現状

同種造血幹細胞移植の件数は年間28件（2023年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁（骨髄、末梢血幹細胞）、骨髄バンク（骨髄、末梢血幹細胞）、臍帯血のすべてに対応しており、昨年は末梢血幹細胞を用いた移植が2/3となっていた。また造血器腫瘍に対する免疫細胞治療としてCAR-T療法を2020年より開始し、2023年は26件施行している。

(3)がん研究の推進

●多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

●臨床研究中核病院

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。未来医療開発部の支援の下、がん薬物療法の治験治療等、質の高い臨床研究を推進している。

がん研究部会

● がんゲノム医療中核拠点病院

- ・「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月にがんゲノム医療中核拠点病院の指定を厚生労働省より受け、令和5年3月に引き続き指定を受けた。（指定期間：令和9年3月31日まで）

- ・令和6年1月時点で、がんゲノム医療拠点病院（全国に32病院、うち大阪府下2病院）、及びがんゲノム医療連携病院（大阪府下5病院）と協力して、がんゲノム医療の社会実装を推進している。

（協力している大阪府下7病院：【拠点】大阪国際がんセンター、近畿大学病院
【連携】大阪公立大学医学部附属病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪労災病院、堺市立総合医療センター、市立豊中病院）

- ・平成30年10月より先進医療B「マルチプレックス遺伝子パネル検査」を実施した。（199例登録）

- ・令和元年9月中旬より保険診療下でのがん遺伝子パネル検査の受付を開始し、令和6年1月現在、当院で行っている保険診療のがん遺伝子パネル検査は以下の5種類である。

OncoGuide™ □ NCCオンコパネル システム、FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル、FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル、Guardant360 CDx がん遺伝子パネル、GenMineTOPがんゲノムプロファイリングシステム

（令和元年:96件、令和2年:224件、令和3年:255件、令和4年:259件、令和5年：233件）

がん研究部会

● がんゲノム医療中核拠点病院

- ・令和元年10月から、国立がん研究センター中央病院が調整事務局となり実施する「遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養（受け皿試験）」が特定臨床研究として開始された。当院も共同医療機関として実施している。
- ・令和4年9月より、AMED全ゲノム研究（患者還元班）に参加し、難治がん・希少がんに対する全ゲノム解析研究を実施している。（令和4年度100例登録、令和5年度：94例登録）

(4)先進医療の推進

●以下の先進医療を現在実施中である（R6.1.1）

1. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫（先進医療B）

2. 術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん（先進医療B）

3. 術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ-パクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除可能な膵臓がん（七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。）（先進医療B）

(5) 人材育成

●がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン (大学院) 第4期

50名(2024年2月)

(薬物療法、放射線治療、外科治療、緩和医療、医学物理、がん病理、細胞診、がん看護、小児がん、ゲノム医療、創薬など)